

平成30年度特別会計決算

国民健康保険事業

区 分	30年度末	前年比
総世帯数	18,887世帯	△66世帯
総人口	45,695人	△871人
国保世帯数	8,670人	△210人
加入世帯率	45.9%	△1.0%
退職者等加入者	53人	△126人
一般若人加入者	16,652人	△450人
国保人口合計	16,705人	△576人
国保加入率	36.6%	△0.6%

歳入総額
89億1,932万9千円

歳出総額
81億7,687万円

実質収支額
7億4,245万9千円



《決算状況》

平成30年度から県が運営を行うこととなったため歳入歳出とも大幅に減額となった。

下水道事業

歳入総額	6億9,852万9千円
歳出総額	6億6,845万9千円
実質収支額	1万5千円



歳入で8.2%の増、歳出では10%の増だった。

下水道接続戸数はほぼ横ばいであり、今後も接続率を高めるための取り組みが望まれる。

後期高齢者医療事業

歳入総額	6億4,308万1千円
歳出総額	6億4,121万8千円
実質収支額	186万3千円

区 分	30年度末	比較
世帯数	18,887世帯	△66世帯
人口	45,695人	△871人
被保険者数	9,629人	△82人

一人当たりの医療費は前年度比でわずかに改善したが、今後この制度を維持していくために生活の維持向上を確保しつつ、更に保健事業や広報活動を充実させていく必要がある。